

市長特別秘書導入に反対

12月議会で市長より特別秘書設置の条例が上程され、高木は反対しましたが賛成多数で可決されてしまいました。特別秘書は都道府県で置いているところがありますが少数派、政令市では他にありません。現在、さいたま市には助役が3人おり、他市と比べても少なくなく、助役がいれば市長の補佐は十分です。「大型プロジェクトの続くさいたま市には先般の総選挙で増えた国会議員への根回しなどが必要な為」というのが導入の最も大きな理由のようですが、政務も扱える特別職なため、市長の後援会活動や選挙活動もでき、税金（月額報酬48万円）で賄われるべきものか甚だ疑問です。

(自民 、公明 、共産×、無所属の会×、**民主×**、
自治ネット×、行政研究会×(1名)、さいたま21)

市内小学校に警備員を緊急配置

1/10から市内小学校全校に警備員各1名が緊急配置されることになりました。広島・今市と小学校1年生が狙われる痛ましい事件が続いたことから、当初は来年度からの計画であった警備員配置を前倒しすることになりました。基本は校内警備ですが、登下校時の校門周辺や、校長の要請により不審者情報のあった地域の見回りも行います。

しかし、1名の警備員で通学区全部の安全を万全とすることはできません。地域の皆さんやPTAの皆さんのご協力が不可欠です。議会では、市としてもこれらの活動を情報の提供や必要資材への補助などでしっかりバックアップすると同時に、新たな警備員態勢と効果的な連携が取れる仕組みづくりを行う必要があることを確認しました。

シリーズ
さいたま市議会、ここが問題

朗読議会では 市民は興味を持ってない

昨年9月議会から議会のインターネット中継が始まり、市民の皆さんにも簡単に議会の様子をご覧いただけるようになりましたが、よく皆さんから「原稿を読んでいるだけではつまらないよね」というご指摘をいただきます。質問者・答弁者とも、極めて短い時間内に内容を詰め込まなければならない為、原稿を作らざるを得ないなどの事情があり、当事者になってみると、朗読答弁でも、どんな内容が出るのかとドキドキするものですが、それは議会の内側の事情です。市民にとって、何が今問題で、どこを解決すればいいのか、対立点はどこなのか、興味を持って注目できる議会にしていく必要があると考えます。

2月議会は2/14(火)スタート!

2月議会は各会派の代表質問と予算委員会が開かれます。代表質問には我が会派から田中通之議員が立ち、予算委員会は高柳俊哉議員が担当する予定です。高木本人の質問は教育市民委員会の議案外質疑になりますが、代表質問・予算委員会とも、会派での質問となるのでその内容作成に関わって参ります。特に、2期目を迎えている「区民会議」のあり方について注目していく予定ですので、ご意見などございましたらどしどしお寄せ下さい。

高木まり市政報告会・プロジェクトミーティングのお知らせ

市の様々なことを高木からご報告させていただくとともに、会場の皆さんから自由にご意見やご質問をいただく会です。当日ぶらりとご参加ください。

と き:1月22日(日)午後2時~4時

テーマ「真の『市民との協働』とは」

ところ:宮原コミュニティーセンター 第3集会室

JR宮原駅東口下車旧中山道沿い「宮原駅入り口」バス停から
東武バス「上尾車庫」行きで「白樺通り入り口」バス停下車徒歩1分